様式２

学 校 評 議 員 会 議 録

開催日時	平成27年２月26日(木)　17時00分 ～ 17時40分	
会　　場	北海道釧路湖陵高等学校　校長室	
出席者数	学校評議員　２名	学校側　４名
出席者名	佐　藤　文　昭 佐　野　比呂己	宮　下　祐　司(校　長) 赤　津　博　久(副校長) 近　藤　浩　文(教　頭) 矢　橋　佳　之(教　頭)

校長が意見を求めた事項	学　校　評　議　員　の　意　見　等
学校評価結果について	【全日制】 １　自己評価結果全体について (1)　ほぼすべての項目でポイントが前年度より上がっており、先生方の努力が感じられる。その反面、心身面の健康が心配されるので、休養日を設けるなど配慮して欲しい。 (2)　学校評価（自己評価）の制度が整えられ、先生方にも浸透した印象を受けた。 ２　研究指定事業の全校体制での取組について ・　事業を推進するにあたり、小グループの方が進めやすいことは、理解できる。進捗状況や結果を聞く場面があるか、自分の担当外でも聞こうとしているかなどを確認する必要があるのではないか。 ３　保護者・地域との連携について ・　保護者や地域の意見をどのように聞いて教育活動の改善に結びつけるのか、不明確な点も多く、難しいと感じる。まずは、学校で行っていることをしっかり伝えることが必要ではないか。 ４　設備の整備等について ・　予算が厳しい中で評価するのも難しいが、生徒からの要望の多いものについては、同窓会・後援会との連携を図り、改善に努めてもらいたい。 　また、周年事業終了後は同窓会と疎遠になることが過去にもあったが、、お互いにそうならないよう留意したい。 【定時制】 １　４年間を見通した進路指導について 　面談の充実や多様な取組を駆使し、個別指導を充実させながら取り組むとのことで、大変なことだとは思うが、成果が上がることを期待する。

上記のとおり会議を開催した。

平成27年２月27日

北海道釧路湖陵高等学校長　　宮　下　祐　司

※　別の書式により意見聴取の内容を整理している場合は、それを添付し保管すること。

※　配付資料等を添付し保管すること。